

2016年10月1日～2018年9月30日に

脳卒中を発症されて当院に緊急入院され、長下肢装具を使用して歩行訓練された方へ

当院リハビリテーション科では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に使用されることを希望されない場合には、下記の相談窓口までご連絡ください。研究対象者または、その代理人からの求めに応じて、情報の利用を停止いたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、計画書および関連資料を閲覧することができますので、お申し出ください。研究を実施するために必要な資金を製薬業者等から提供して貰うことによって、その結果に利害が発生し、結果の判断に歪みが起こり兼ねない状態を「利益相反」と言います。本研究に関わる資金を業者等から受け入れることはありませんが、橋本義肢製作株式会社と共同で研究するため、技術提携をうけることを利益相反として開示いたします。

課題名	MR 流体を膝継手に組み込んだ長下肢装具の開発に関する臨床研究
研究目的	新しく開発した「MR (magneto-rheological) 流体ブレーキと伸展バネ機構を膝継手に搭載した長下肢装具」が従来の長下肢装具よりも有用であるかどうかを検証することを目的としています。
調査項目	以下の内容について、診療録から調査いたします。 年齢、性別、疾患名、入院日、回復期リハビリテーション病棟への転床日、退院日、等の基本情報。血液検査や尿検査等の検査データ。 リハビリテーション評価の内容：神経学的所見、麻痺の重症度、関節可動域測定、健側の徒手筋力テスト、日常生活活動、歩行の評価。
対象者	2016年10月1日～2018年9月30日に緊急入院した脳卒中患者様のうち、重度の片麻痺のために長下肢装具を使って歩行訓練された方
個人情報管理者	川崎医科大学リハビリテーション医学教室 研究補助員 平野 都
相談窓口	川崎医科大学リハビリテーション医学教室 教授 椿原 彰夫 電話 086-462-1111 E-メール : tsuba@med.kawasaki-m.ac.jp